

③ 2013年(平成25年)4月5日

福祉を叫ぶ

「あんしん」の樋口会長が出版

障がい者が自立して暮らせる地域をと、平成14年にNPO法人支援センターあんしんを立ち上げて福祉事業に取り組んでいる樋口功会長(63)が、このほどこれまでの歩みや福祉によるまちづくりの取り組みをまとめた「豪雪のまちで福祉を叫ぶ」を出版した。

利用者2人だけというなかでスタートした支援セン

ターあんしん。手探りで福



「あんしん」の樋口功会長

祉事業に取り組み、昨年度までの10年間で利用者は90人を超え、職員80人、福祉就労支援工場や生活介護通所施設など11カ所の施設を運営するまでになってい

る。中越地震時、通所者の賃金源のトイレットペーパー工場が被災、一時は工場閉鎖まで追い込まれたが、全国的な支援により復興した。そうしたこれまでの歩みをまとめている。

著書はB5版175ページ、価格は税込み1650円。市内の書店などで扱っており、売り上げの一部は同支援センターの活動資金に活用される。樋口会長は「10年を節目に、これまでの歩みを書いてみました。この著書を契機に、さらに地域で支えあう障がい者福祉の輪が広がってもらえれば」と話している。